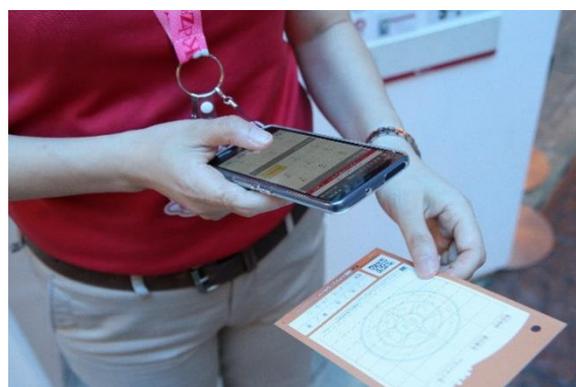


「キッズニア東京」「キッズニア甲子園」、館内のスマート化に着手 約100種類のアクティビティ空き状況を一覧で可視化、パビリオン受付システムにITを導入 年明けには公式アプリをリニューアル、スマホ向けにもアクティビティ空き状況や体験履歴などを提供予定

こどもの職業・社会体験施設「キッズニア」の企画・運営を行う KCJ GROUP 株式会社(本店:東京都千代田区、代表取締役社長:圓谷 道成、以下 KCJ GROUP)は、来場されるお客様への利便性の向上や、より一層、安全・安心に過ごしていただくことを目的に、「キッズニア東京」(東京都江東区)、「キッズニア甲子園」(兵庫県西宮市)の両施設において、館内のスマート化に着手します。



アクティビティ空き状況の表示(イメージ)



スタッフによるアクティビティ受付業務(イメージ)

第一弾として、2020年7月上旬(※)から、約60種類のパビリオンで体験できる約100種類のアクティビティについて、それぞれの各回定員に対する空き状況、開始時刻などの情報を、館内4か所に設置した大型のデジタルサイネージにリアルタイムで表示するサービスを開始します。これにより、お客様は、各パビリオンの付近まで移動せずともワンストップで全パビリオンを網羅した情報を得やすくなるほか、「3つの密(密閉、密集、密接)」の回避対策として、館内の狭い通路などでの混雑軽減にもつながるため、より安全・安心な環境でキッズニアでの体験をお楽しみいただけます。

また、同じタイミングで、各パビリオンのアクティビティ受付業務の一部にITを実装。スーパーバイザー(子ども達の体験をサポートするKCJ GROUPのスタッフ)は、子ども達が提示する「JOBスケジュールカード」内にあらかじめ印字されているQRコードを専用端末で読み込み、所定の操作をするだけで、体験人数や開始時刻の管理、子ども達の年齢、誕生日などの属性の把握を含む受付業務の一部を完了できます。これまで手作業で行っていた業務が簡素化し、人為的なミスの発生機会も減らせるため、スーパーバイザーは本来業務である子ども達とのコミュニケーションに集中できるようになります。

なお、2021年1月を目途に、スマートフォン向け「キッズニア・ジャパン」公式アプリのリニューアルを予定しています。アクティビティの空き状況をアプリにも配信するほか、過去の来場日時やアクティビティの体験記録を閲覧できる機能など、子ども達や保護者のみなさまに、よりスマートにキッズニアを楽しんでいただけるコンテンツの提供を検討しています。

KCJ GROUPは、「キッズニア」館内のスマート化に注力していくとともに、職業・社会体験という唯一無二の教育的価値を提供する施設の運営を通じ、引き続き子ども達の豊かな未来の創造を目指してまいります。

※ サービス開始に先立ち、2020年6月下旬に、両施設に来場するお客様のご協力のもと、本格導入前のテスト運用を行う予定です。